## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和3年7月5日

施 設 名 県民体育館		所管課	文化生活スポーツ部 スポーツ課				
指定管理者名	(公財)高知県スポーツ振興財団	指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日				
施設所在地	高知市桟橋通2丁目1番53号						
事業内容	5 施設及び設備の維持管理に関する業務 6 スポーツ振興事業等に関すること						
職員体制	体育館:館長(1)、副館長兼責任者(専門) プール:責任者兼専門職員(1)、専門職員						

2 収支の状況 単位:千円

		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
収入	県支出金	80,377	80,915	76,902
	利用料収入	27,223	18,452	29,680
	手数料	1,770	1,018	1,750
	その他	4,163	3,840	4,360
	収入計 (a)	113,533	104,225	112,692
支出	人件費	50,268	55,175	54,670
	管理運営費	63,241	51,044	58,022
	その他			
	支出計 (b)	113,509	106,219	112,692
収支差額 (a)-(b)		24	△ 1,994	0

## 3 利用状况

טאארוווניף ט	3.利用状况				
	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年(目標)		
①年間利用者数(単位:人)	178,726	104,354	210,000		
②利用者意見等の反映	方法:教室実施後 回答数:週12教室 年間 492名 調査結果:参加地域を回答いた プール 期間:令和2年9月1日から9 方法:玄関入り口前にアンケー 回答数:51人(個人) 調査結果:施設の安全性・状態 などの回答があった 〇利用者の意見等を踏まえた対策 ・ご意見等への回答は、館内の掲示 (主な意見とその対応) ・スポーツ教室のプログラム等の見II	教室の最終日にアンケート調査 コロナ は、無料体験・夏休水泳教室・木工教室 だき、参加者分布地域一覧を作成。参加 月30日 一ト用紙を置き、回収箱で回収 ・備品・案内表示等において満足が多い には を を し、プログラム等の改善を行っているので広くしてほしい。 とりの面積を広くし駐車をしやすくした 情報の一覧を配布している。 を順次行い、サービスの向上に努める	177名 合計669名 □者の少ない地域への広告の強化  小が駐車場への不満(利用しづらい)  ○。 。また、駐車台数減(93→81)対策と  Eいる。		
③その他特記事項					

## 4 令和2年度業務評価

項	<b>=</b>	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保		・法令・事業計画書・協定書(仕様書)等の内容を遵守し、適正な管理運営が行われていた。 ・施設点検マニュアルにより開館日は目視による確認をしており、損傷等があれば直ちに対応するようにしている。 ・職員によって、定期的に除草・剪定をしているなど適正に管理している。 ・防災マニュアルに基づき、関係機関と情報連絡体制が整備されている。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、注意事項の掲示や消毒液の設置及び、器具の消毒などの対策を講じ、利用者の安心・安全の確保に努めた。
②利用者サービスの維持向 上		・ホームページや広報誌により広くスポーツ教室等の情報発信を行っていた。また、今年度から導入したデジタルサイネージを活用して情報を提供している。 ・昨年度のトイレの全面改修や駐車場白線工事により利用者の利便性を高めた。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、注意事項の掲示や消毒液の設置及び器具の消毒などの対策を講じ、利用者の安心・安全の確保に努めた。 ・バスケットゴール1対を更新した。 ・各種スポーツ教室の実施など、アンケート調査によって利用者ニーズを把握して的確な事業を実施している。
③利用実績		〇平成31年度利用者実績:178,726人(うちプール利用者61,443人) 〇令和2年度利用者実績:104,354人(うちプール利用者36,763人) 体育館利用者(対前年比 41.6%滅) プール利用者(対前年比 40.1%減) ※コロナウイルス感染症の影響による減少
④収支の状況		<ul><li>○収入について</li><li>・平成31年度収入(管理代行料を除く)は、33,156千円</li><li>令和2年度収入(管理代行料を除く)は、23,310千円(対前年比 29%減)</li><li>○支出経費について</li><li>・平成31年度支出は、113,509千円 令和2年度支出は、106,219千円(対前年比 6.4%減)</li></ul>
総合評価	Ь	・改修工事等による一部施設の休止、新型コロナウイルス感染症対策の影響で利用者数及び収入は減少したが、SNS等を積極的に活用して教室や施設のPR等を行うことにより利用者の減少を約30%に抑えるたことは評価できる。また、災害対策として、実際に利用者がいる中での避難訓練等を実施し、より迅速に的確な誘導ができるように実効性のある避難行動計画を作成するなど、利用者の安全確保に取り組んでいる。

A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

## 【評価の目安】